

特定外来生物「ヒアリ」等への発見について

1 ヒアリ発見の状況

- 平成 29 年 6 月 9 日に兵庫県尼崎市において、国内で初めて特定外来生物である「ヒアリ」が確認されて以降、6 都府県でヒアリが確認されている。
- 本県では、6 月 30 日に鍋田ふ頭コンテナターミナル（弥富市）で初めて確認された。それに引き続き、7 月 10 日に春日井市内において内陸部で国内初となる「ヒアリ」が確認され、同一コンテナの返却先の飛島ふ頭のコンテナターミナル（飛島村）においても「ヒアリ」が確認された。

〈本県でのヒアリ発見状況〉

確認地点	確認日	確認状況	備考	積出港
愛知県弥富市 （名古屋港）	6 月 30 日	コンテナ上部で個体を発見	7 個体	南沙港 （中国）
愛知県春日井市	7 月 10 日	荷卸しされた貨物に付着していた個体を発見	1 個体 （内陸部初確認）	南沙港 （中国）
	7 月 12 日		（追加調査）	
愛知県飛島村 （名古屋港）		コンテナ内部で個体を発見	5 個体 11 個体	

※ 7 月 12 日に飛島ふ頭コンテナターミナル（飛島村）で「アカカミアリ」が確認された。その際、コンテナの陸揚げ作業中で、作業員が刺される被害があったが、病院で治療し、健康上の問題は生じていない。

2 県等の対応状況

県環境部は、水際での侵入防止を確実に図るため、建設部、環境省中部地方環境事務所、名古屋港管理組合等と連携・情報共有をしていき、確認地点周辺での調査及び拡散防止対策を迅速に実施している。

- （1）名古屋港、三河港及び衣浦港の緊急調査及び継続調査（名古屋港管理組合、建設部）
- （2）県 Web ページによる県民の方々への注意喚起（環境部）
- （3）県民の方々への相談窓口の設置（環境部）
- （4）関係団体等への注意喚起
 - ・庁内各部局、市町村（環境部）
 - ・荷主、運送事業者の関係団体（環境部、建設部）
 - ・県医師会等（健康福祉部）
 - ・県内の学校等（教育委員会）

3 国内の事例（平成 29 年 7 月 26 日現在）

番号	確認地点	確認日	確認状況	備考	発出港
1	兵庫県尼崎市 （尼崎港）	6 月 9 日	コンテナで集団を発見	500 個体以上のうち女王 2 個体、オス 5 個体	なんさん 南沙港 （中国）
2	兵庫県神戸市 （神戸港）	6 月 18 日	コンテナヤードの舗装面の亀裂で個体を発見	約 100 個体	南沙港
3	愛知県弥富市 （鍋田ふ頭）	6 月 30 日	コンテナ上部で個体を発見	7 個体	南沙港
4	大阪府大阪市 （大阪港）	7 月 3 日	コンテナヤードの舗装面の亀裂で個体を発見	約 50 個体 （女王含む）	南沙港
5	東京都品川区 （大井ふ頭）	7 月 6 日 （7 日追加調査）	コンテナ内部で個体を発見	200 個体以上 （卵、幼虫、さなぎも確認）	さんざん 三山港 （中国）
6	愛知県春日井市	7 月 10 日、 12 日	倉庫内（春日井市）及び飛島ふ頭（飛島村）にてコンテナ内部で個体を発見	6 個体	南沙港
	愛知県飛島村 （飛島ふ頭）			11 個体	
7	神奈川県横浜市 （横浜港）	7 月 14 日	コンテナヤードの舗装面の亀裂で個体を発見	700 個体以上のうち、有翅オス 5～10 個体、サナギ 100 個体以上、幼虫 100 個体以上	不明
8	福岡県福岡市 （博多港）	7 月 21 日	陸揚げされたコンテナヤードの地面で個体を発見	数十個体	南沙港
9	大分県中津市	7 月 25 日	運送事業者敷地内で開封したコンテナ内部で個体を発見	20 個体程度	こうらん 高欄港 （中国）

4 ヒアリの特徴

・原産地：南米 ・分 布：米国を始め、中国、フィリピン、台湾等に定着

・形態的特徴： 体長 2.5mm～6mm

全体は赤茶色で腹部が黒っぽい赤色

腹柄は 2 節（2 つのコブ）

おしりに毒針、頭循前縁中央に小突起あり

ドーム状のアリ塚を作る



・特 性： 攻撃性が強く、巣を刺激したりすると集団で襲いかかる。大あごでかみつき、毒針で何度も刺す。

・刺されたときの症状： 軽度から重度までさまざま、アレルギー性のショックを引き起こすおそれもある。

※ アカカミアリは、ヒアリの近縁種であるが、毒性はヒアリより弱い。